

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 内・外房線で動物との衝突が急増 ワンマン運転拡大中止と早急な対策を

動物との衝突事故（千葉支社内の主な路線）

線区	18年度	19年度
内房線	35件	52件
外房線	20件	28件
総武本線		4件
成田線		3件
久留里線		1件
千葉支社管内	68件	95件

※主にイノシシ、シカ、キョンなど

**20年度はすでに昨年度件数こえる**

この間、内房・外房線を中心に動物との衝突事故が急増しています。7月31日の動労千葉との団体交渉で千葉支社は、支社管内全体で18年度は68件、19年度は95件と回答しました。

特に内房線、外房線での件数が多くなっています。昨年度では内房線の上総湊～竹岡間で18件、竹岡～浜金谷間で10件、外房線の浪花～鵜原間で14件、興津～安房天津間で4件発生していると回答しています。

会社は、「鉄分を与える」「オオカミの尿を設置する」などの対策を行っているとは回答しましたが現実には件数が増えています。

今年度も、すでに昨年度を超える件数の衝突が起っています。動労千葉は柵やネットの設置、沿線の除草の徹底などを要求しました。動物が生きていた場合、車外の対応は危険です。イノシシの豚熱感染の拡大も報じられ

ています。衝突後の対応は感染症の危険性もあります。

### 衝突時の対応に車掌は必要

動物との衝突で車両が故障した場合、車両の確認や処置も必要になります。駅間での停車・確認が必要になれば、抑止手配も必要です。ワンマン化されれば指令への連絡ややり取り、乗客への案内も含めて、すべて一人で行わなければなりません。

駅間停車の場合も、車掌がいれば、乗客に状況を案内し、車外へ出ないよう呼びかけを適宜行うことができます。運転士一人で、車両の確認と乗客への案内を同時に行うことはできません。万が一、乗客が線路上に降りてしまったらどうするのでしょうか？安全確保のためにも車掌は絶対に必要です。

### ワンマン運転拡大は中止すべき

動物との衝突多発で、運転士はただでさえ神経を使って運転せざるを得ません。そんな中でワンマン化となれば、運転士への負担はさらに大きくなります。会社の儲けのために安全を犠牲にして車掌を削減し、運転士への負担を強いるなど許されません。ワンマン運転拡大はただちに中止するべきです。